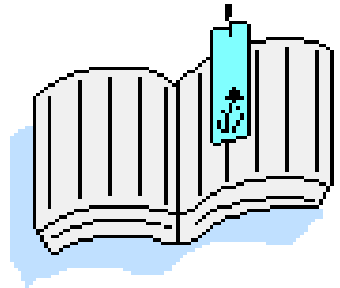


学級担任の先生に配付してください。

「文集はままつ」 ～ こんな活用方法があります。～

今年も、「文集はままつ」ができあがりました。
子供たちのすてきな作品でいっぱいです。
こんな形で活用してみてはいかがでしょうか。……



まずは→→→

○感想を書く欄があります。
心に残った作品の感想を
書いてみます。

読みたい気持ちを 大切に、自由に！！

○図書室の本を返却している時期には、
学級文庫や個人用の本がありません。
年度末や長期休業前です。そんなとき、
文集を読むようにします。

○一定の期間、学校に置いておき、
朝読書の時間に読むようにします。

○テストが終わった後の時間に
どんどん読みます。



学習に生かして！！

○自由応募の作品を読み、
どの作品がよかったか、
どの表現がよかったかを
話し合います。
目的をもって読むように
すると効果的です。

○（教師として）昨年度の文集を読み、
子供たちの実態把握を行い、教材研究
に生かします。
（物語文の感想や物語文の続き話など
が掲載されています。）

○自由応募の文量と卒業文集の文量が同じくらいなので、
（昨年度の）文集を読み、参考にしました。
子供たちにとって、たくさんのヒントがありました。